

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 11 月 28 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (11/28 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m ³ /h	23.7	105.4 kPa abs	A系： 0.11 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.09 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	32.5	8.41 kPa g	A系： 0.07 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.07 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	31.7	0.22 kPa g	A系： 0.09 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

*1:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

- ・11/12～12/9(予定) 1号機原子炉压力容器への窒素封入が停止した際に、予備として原子炉格納容器へ窒素封入を維持するため、O₂サンプリングラインを用いて、段階的に流量を変更する試験を実施中。
- ・H25/11/26～ 4号機原子炉建屋の健全性確認のための点検(平成 25 年度3回目(計7回目))を実施中。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (11/28 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	17.5
2号機	循環冷却システム	運転中	15.5
3号機	循環冷却システム	運転中	14.1
4号機	循環冷却システム	運転中	23.0

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

- ・H25/11/18 15:18～ 4号機使用済燃料プールから燃料を取り出す作業を実施中。なお、同作業は平成 26 年末頃まで行う予定。
- ・H25/11/28 13:42 4号機使用済燃料プール代替冷却系の一次系ストレーナ交換作業を行うため停止。なお作業は 11/30 までを予定しており冷却停止時の使用済燃料プール水温度は 23.0℃。冷却停止時のプール水温度上昇率評価値は 0.306℃/hで停止中のプール水温上昇は約 16℃と評価されることから、運転上の制限値 65℃に対して余裕があり、使用済燃料プール水温度の管理上問題はなし。
- ・H25/11/28 11:07 頃 3号機使用済燃料プール内にある大型瓦礫を撤去するための準備作業として同プール内に設置したオイルフェンスの設置状況を固定式監視装置(カメラ)にて確認。当該作業が終了したことから、同装置のカメラを引き上げたところ、南西側のカメラが過巻き上げ状態になり、カメラケーブルが切れ当該カメラ本体が水中に落下した。当該カメラの重量(約 5.5kg)から、カメラ落下に伴う燃料の損傷等はないと考えている。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	11/22 9:44～ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	11/6 9:27～ 移送実施中

- ・H25/11/28 10:09～15:50 サイトバンカ建屋からプロセス主建屋への溜まり水の移送を実施。

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (11/28 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	A系・B系・C系 ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 当面は、3系列のうち2系列による運転を実施することで2系列運転の稼働率を向上させていくこととし、準備が整い次第、3系列の同時運転を実施予定。なお、B系については、本年12月下旬頃(予定)に腐食対策有効性確認のため、処理運転を停止予定。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

<5. その他>

・H25/10/21 13:50～ 6号機において、燃料集合体を原子炉内から使用済燃料プールへ移動させる作業を実施中。

・H25/11/26～ 高濃度汚染水が滞留している建屋に接続するトレンチについて、年1回の点検を実施中。

・H25/11/26～28 11/5に発生したえい航船のスクリューに巻き込まれたシルトフェンスの復旧作業を実施。

【H4エアータンク等からの水の漏えい関連】

<トピックス>

・11/26 11:03～ H4エアータンクからの水の漏えいに伴う汚染の拡散防止策としてH4-No.5 タンクの北東側に設置したウェルポイント(5本)から地下水の汲上げを実施中。

・11/26 15:39 11/26に実施した汚染水タンクのパトロールにおいて、H9 エリアの堰ドレン弁(H9-B1 タンクの南側)より、堰内の溜まり水が滴下(1滴/秒程度)していることを確認したとの連絡あり。同日17:00に当該堰ドレン弁の増し締めを実施し、滴下は停止。当該堰ドレン弁から滴下した箇所に水溜まりはなく、直径2cm程度の染みを確認。当該堰内の溜まり水の分析結果は、セシウム134 およびセシウム137 はいずれも検出限界値未満、ストロンチウムは4.0Bq/Lであったことから、堰ドレン弁から滴下した水は雨水であると判断。
11/28 当該ドレン弁の交換を実施。

<タンクエアパトロール実績(11/27)>

- ・高線量当量率箇所($\beta + \gamma$ 線(70 μ m線量当量率))は確認されず。
- ・堰床部に雨水が溜まった箇所については、雨水による遮へい効果により線量当量率は低い状態となっている。
- ・目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認が出来ていない堰内溜まり水内を除く)を確認。
- ・サーモグラフィーによる水位確認(11/26撮影分の分析結果)により、タンク水位に異常がないことを確認。

<H4エアータンク周辺のサンプリング実績>

・11/26 採取分の測定結果については、前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・11/27 採取分の測定結果については、前回採取した測定結果と比較して有意な変動なし。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

・1・2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は
11/28 0:00 時点で約6,029m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

・前回採取分の測定結果と比較して有意な変動なし。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<トピックス>

・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。(有意な変動なし)

・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。

・H25/10/23～ 地下貯水槽 No.6 において浮き上がり対策を実施中。

・H25/11/15～ 地下貯水槽 No.5 において浮き上がり対策を実施中。

・H25/11/19～ 地下貯水槽 No.1 において浮き上がり対策を実施中。

以上